

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	くれよん		
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2024年12月22日		～ 2025年1月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な活動やイベントを積極的に取り入れている	長期休みなどはいろいろな体験が出来るように、外出することを増やし、買い物、電車に乗ってお出かけ、外食、公園遊び、他の開催しているイベントに積極的に参加するようにしている	他の事業所と合同で出かけることを増やし、もっと積極的にいろいろな活動を取り入れていきたい
2	・活動プログラムは子どもに合わせたものを取り入れている ・利用者の方に合わせた課題を用意している	・一人ひとりに合った活動が出来るようにしっかりと課題を準備し、常に新しいことを取り入れていくようにしている ・手作りでその子どもに合った個別に使う物を多く作り使用している ・おやつ作りやご飯作りを多く取り入れ食育に力を入れている	子どものやりたいこと、興味のあることを積極的に取り入れていき職員全員で取り組みが出来るようにしていきたい
3	・ご家族の方に写真や動画などで活動の様子を伝えている ・必要に応じて定期的な面談以外にも面談を行ったり、電話やSNSを使って情報を提供したり、情報の共有をしている	・くれよんの理念である寄り添った支援を行えるようご家族との関係を構築し、相談や話がしやすい環境を提供出来るようにしている ・事業所の様子わかるようにいろいろなツールを使い発信している	ご家族同士で話が出れる茶話会を開き皆さんが楽しく集える場所の提供をし、職員とご家族も面談などの機会にもっと話などが出来るようにしていきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族に対して研修会やペアレントトレーニングが出来ていない	職員の技術と人員の確保が難しいため行えていない 研修は日程や望む内容が保護者の方によって違うため先延ばしになっている	人材の確保と体制づくりを考えていきたい
2	地域交流など地域に関わる事があまりできていない	地域の行事は日曜日が多く参加出来ない また感染症などもあり年配の方々に参加してもらえない	積極的にいろいろなところに参加出来るようにしていきたい
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	くれよん		公表日		2025年 2 月 20 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	1階と2階に分かれて活動することもある	皆が使いやすいようにその都度話し合っていたい
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3	子どもの調子によっては人手が足りないと感じることがある	人を増やす手立てをする
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	部屋の中は段差はない	戸建てのため玄関は段差がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	毎日掃除をし清潔を心掛けている	これからも継続していく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	2階の一室を個別の部屋として使っている	静かな場所、落ち着ける場所として使っていけるようにしていく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	人が揃う日にミーティングを行うようにしている	全員が揃うことがないのでいろいろなツールを使うことを考えていきたい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	意向などは話し合っている	これからも継続していくさらに改善を心掛けていく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	一人ひとりには話を聞いている	ゆっくりと時間を取ることが出来ていないのでもっと話す機会を増やしていきたい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	評価は理事会で行っている	外部評価も取り入れていくように進めていきたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	オンライン研修や動画研修を多く取り入れている	もっとたくさん学ぶ機会を増やしていきたい
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	支援プログラムは話をし作っている	公表はまだできていない
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	1	アセスメントは2か月に1度はしている	客観的分析が弱いと感じているので考えていきたい
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	職員に聞きながら作っている	全ての職員が共通理解出来ているかこれからは確認していく
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	支援計画は職員全員が見れるようにしている	これからも継続していく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	出来ている	これからも継続していく
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	職員と話し合いながら決めている	移行支援、地域連携は密な内容を示すことができていないためこれから話し合っていく
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	常勤職員と話し合いながら決めている	広く職員が参加できるようにしていく

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	いろいろとアイデアを出し常勤職員と話し合いながら決めている	これからも継続していく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	子どもに合わせた活動を取り入れている	これからも継続していく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	3	揃うことが少ないので紙媒体で内容などの確認をしている	これから出来ることを考えていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	送迎などで全員での打ち合わせは出来ていないが業務日誌などで確認している	これから出来ることを考えていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	個別、業務日誌などで記録を取って話している	これから出来ることを考えていく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	話し合いを行い見直しをしている	これからも継続していく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	2	出来ている	これからも継続していく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	活動を子どもに選んでもらい工夫している	これからも継続していく
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	常勤職員や児童発達支援管理責任者などが参加している	これからも継続していく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	出来ているところと出来ていないところがある	まだ出来ていないことも多いのでこれから体制を整えていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	出来ているところと出来ていないところがある	まだ出来ていないことも多いのでこれから体制を整えていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	就学前の情報はほとんど共有できていない	まだ出来ていないことも多いのでこれから体制を整えていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	今まで提供したことがない	まだ出来ていないことも多いのでこれから体制を整えていく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2	研修などは受けている	まだ出来ていないことも多いのでこれから体制を整えていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	公園などで地域の子どもの交流をしている	まだ出来ていないことも多いのでこれから体制を整えていく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3	こども部会に参加している	これからも継続していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	面談や送迎時などで話している	もっと発信していくようにしていく
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	出来ていないので前向きに考えていきたい	まだ出来ていないことも多いのでこれから体制を整えていく	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	その都度説明している	これから継続していく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	年に2回は面談をしており意向を確認している	これから継続していく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	その都度説明している	これから継続していく
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	連絡があれば対応し、こちらも気になることは話している	これから継続していく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	0	茶話会という名称で保護者同士の交流する機会を持っている	きょうだい同士は出来ていないので考えていく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情が出た場合はその都度話し合い対応している	このまま継続していく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	つうしんを毎月1度発行しておりSNSなどでも情報を発信している	このまま継続していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	留意している	このまま継続していく
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	いろいろな形で配慮している	このまま継続していく
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	感染症対策で何年かは行事に招待していない	様子を見て行事に来ていただけるようにしていく
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	すべて策定しており皆に周知している また年に2度は訓練を行っている	これから継続していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	すべて策定しており皆に周知している また年に1度訓練を行っている	これから継続していく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	ご家族から確認している	これから継続していく
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	医師の指示書はないがご家族からの聞き取りはしている	これから継続していく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画の作成はしておりそれに沿った支援をしている	研修や訓練を増やしていく
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	出来ているものと出来ていないものがあり、ご家族の方への周知は出来ていない	これから周知していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットはミーティングで話し合い共有検討している	これから継続していく
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	年に2度は必ず研修を行っている	これから継続していく	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	身体拘束同意書を書いてもらい了解を得ている	これから継続していく	

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2025年2月20日

事業所名：くれよん

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員に応じたスペースは確保している。	はい :21 いいえ :0 どちらともいえない:1 わからない :0	1階、2階と活動を分けてるなど工夫をしている
	2 職員の適切な配置	10名に対して3~4名の配置をしている。 また活動や行事内容により職員の配置を増やすようにしている。	はい :19 いいえ :0 どちらともいえない:1 わからない :2	これからも適切な配置を心掛けていく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関は戸建てのため段差はあるが事業所内は段差はない。	はい :18 いいえ :0 どちらともいえない:0 わからない :4	子どもに合わせた情報伝達の取り組みをこれからも工夫していく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	換気、手洗い、消毒をし、毎日掃除と消毒を行っている。	はい :20 いいえ :1 どちらともいえない:1 わからない :0	消毒などは引き続き行い心地よく過ごせるようにしていく
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎月ミーティングを行い意見を出してもらうようにしている。		今後も継続していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	連携機関や厚生労働省などの評価基準を元に業務改善を行っている		いろいろな情報を元にこれからも業務改善を進めていく
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	リモート、動画、講演会などによる研修に参加し、職員のスキルアップに努めている。		これからも積極的に研修などに参加し、資質の向上に努めていく
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	半年に1度は見直しを行い課題などを保護者の方と共有して作成している。	はい :22 いいえ :0 どちらともいえない:0 わからない :0	ニーズや課題などを保護者の方と共有しこれからも計画を作成していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの特性と現在の様子を見ながら個別活動、集団活動を組み合わせるように支援計画を作成している。	はい :22 いいえ :0 どちらともいえない:0 わからない :0	子どもの状況を見ながら無理のない計画を作成していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもや保護者の方々の思いに添うように課題を設定し、具体的に記載している。	はい :22 いいえ :0 どちらともいえない:0 わからない :0	解りやすく記載するように努めていく。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員全員で共有し、個別支援計画に沿った支援をしている。	はい :22 いいえ :0 どちらともいえない:0 わからない :0	目標達成に向けて適切な支援をしていく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	ミーティング名は全員参加してもらい、話し合いをしプログラムを決めている。		これからも職員全員で内容を検討し、実施していく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	月、週とスケジュールを立て内容を決めている。長期休暇はその時期にしか出来ないような活動を取り入れて組み込んでいる。	はい :20 いいえ :0 どちらともいえない:1 わからない :1	様々な社会資源を活用し、その時々に応じた支援をしていきたい。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節のイベントや外部からの情報を取り入れて工夫に努めている。		プログラムが固定化しないように取り組んでいく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援前にはスケジュール表などで確認している。		今後も継続していく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終了後には個人ノートを書き、その日いた職員で振り返りをし、ミーティングなどで共有している。		今後も継続していく。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日記録を残し、職員間で話し合い、情報を共有している。		わかりやすく記録するようにしていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にモニタリングを実施し、半年に1度は計画の見直しをしている。		今後も必要に応じて見直しを行っていく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	要望があれば担当者が参画している。	必要に応じて連携をとっていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当児なし。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当児なし。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で の支援内容等の十分な情報共有	相談支援事業所を通し情報を共有している。	今後も継続していく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	今までは情報提供を求められることがなかったがこちらから発信できるように進めていく	必要に応じて情報提供を行う。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	子どもによって専門機関との連携は取っている。また専門機関での研修も受講するようにしている。	今後も継続していく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	地域の公園などでの交流は行っている。	はい :9      どちらともいえない:1 いいえ :3      わからない :8

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	感染症が増えたため地域の方には来ていただくことが出来なかった	来年度も状況を見て判断していくが地域の方に来ていただけるようにしていく	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明している。	はい :21 いいえ :0 どちらともいえない:0 わからない :	支援の内容などは面接などの時に説明していく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談や送迎時などに説明している。	はい :20 いいえ :0 どちらともいえない:1 わからない :0	今後も継続していく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者からの相談に対しては家庭支援として対応しているがトレーニングの実施には至っていない。	はい :13 いいえ :1 どちらともいえない:2 わからない :5	いつかはペアレントトレーニングが出来るようにしていきたい。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や面談時に話をしたり、連絡ノートやLINEなどで状況などを伝え共有している。	はい :21 いいえ :0 どちらともいえない:0 わからない :0	共通理解が出来るように努める。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や来所時、また電話などで対応し、話をしている。	はい :20 いいえ :0 どちらともいえない:1 わからない :0	話しやすい場面作りと、適切な対応が出来るように努める。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	名称は異なるが茶話会を開催し、2つの事業所の保護者の方々と話をする機会を持った。	はい :18 いいえ :0 どちらともいえない:1 わからない :3	今後も継続していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	職員間で話し合い、迅速かつ適切な対応に努めている。	はい :19 いいえ :0 どちらともいえない:0 わからない :3	今後も継続していく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもにはその子どもに合った方法(絵カードなど)で、保護者の方には送迎時やLINE、電話などで行っている。	はい :22 いいえ :0 どちらともいえない:0 わからない :0	今後も継続していく。



区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	【くれよんつうしん】を毎月発行し、またInstagramやブログなどでも活動の様子を発信している。	はい :20 いいえ :0	どちらともいえない:1 わからない :0	今後も継続していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の書類は鍵付きの書庫に保管している。	はい :18 いいえ :0	どちらともいえない:1 わからない :3	個人情報については秘密保持契約書を全職員に提出してもらい周知徹底していく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作成し、緊急時のマニュアルは保護者の方に渡している。	はい :20 いいえ :0	どちらともいえない:0 わからない :2	これからも情報を発信し、周知徹底していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回は地震、火事、水害の訓練を実施している。	はい :19 いいえ :0	どちらともいえない:0 わからない :3	様々な場合を想定し、これからも実施していく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に2度は必ず全職員に研修を受けてもらい、報告書を提出してもらっている。	/		職場の環境を整え、研修は今後も継続していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当児なし。	/		今後対象となる児童が利用する場合は説明記載をする。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの聞き取りで対応しており、表を作り共有している。	/		今後も継続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ミーティングなどで話し合いをし、情報を共有したうえで再発防止に努めている。		研修も取り入れ事故防止に取り組んでいく。